

すこやかライフ

保健センター(〒564・0072出口町19・2☎6339・1212☎6339・7075)
保健医療室(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2225☎6339・2058)
地域保健課(〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2227☎6339・2058)
国民健康保険課(☎6384・1239☎6368・7347)
口腔ケアセンター(〒565・0862津雲台1・2・1☎6155・8020☎6873・3030)



保健所のホームページ



保健センターのホームページ

各種健(検)診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。誕生月かその翌月の受診を推奨。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに保健センターへ申請すれば、いずれも無料。☎保健センター。

今月号の市報と併せて「各種健診・検診ガイド」を配布しています。大切に保管してください

健診	内容	費用
30歳代健診	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
成人歯科健診	☐腔内検査、歯面清掃など。30～74歳。障がいのある15～74歳の人は通年受診可。	無料
胃がん検診 ※1	胃内視鏡検査 ※2。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
肺がん検診 ※3	X線検査。40歳以上。問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
結核検診 ※3	X線検査。65歳以上。	無料
B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	無料
骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

☎☎直接、協力医療機関へ。協力医療機関は「各種健診・検診ガイド」と保健センターホームページに掲載しています。

集団検診	内容	日時	備考
胃がん検診 ※1	X線検査。50歳以上。1000円。昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	☎(1)11月5日(金)、(2)11月30日(火)。	☎☎か、検診名、希望日、住所、名前、性別、生年月日、電話番号を郵送かファックスで保健センターへ。(1)は10月22日(金)、(2)は11月16日(火)必着。多数の場合は日程を振り替えることがあります。詳しい案内は検診日の約2週間前に送ります。
大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。	いずれも午前9時～11時。	
肺がん検診 ※3	X線検査。40歳以上。400円。喀痰検査は実施していません。	☎保健センター。	

※1 どちらかを選んで受診してください。
※2 のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。
※3 65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。



☎☎はこちら

▶新型コロナウイルス感染症の影響で掲載内容が中止・延期・変更になる場合があります イベント等の開催の有無は市ホームページが各室課への問い合わせなどで確認してください

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査

匿名可。診断書は発行しません。☎10月8日(金)、22日(金)午前9時30分～11時30分。1人20分。結果説明は検査日の1週間後。☎保健所。☎各先着7人。☎地域保健課へ。

国民健康診査(特定健診)

身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や、今年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。☎40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国民以外の保険の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。☎国民健康保険課。

相談

面接は予約制。☎月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。
健康相談 育児、健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師などが電話や面接で相談に応じます。☎保健センター、同センター南千里分館。☎同センター。

くらしの情報

がん検診を受診しましょう

10月は、がん検診受診率50%に向けた集中キャンペーン月間です。コロナ禍でがん検診を受ける人が減っています。国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。早期に発見するために、定期的ながん検診を受診しましょう。☎保健センター。

☐腔ケアセンターの催し

障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション。歯科医師による☐腔の健康度チェックと☐腔ケア指導。☎11月21日(日)午前10時～正午。☎会場へ来所できる障がい者(児)。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。☎先着10人。☎と年齢を10月1日(金)から電話かファックスで同センターへ。

ドクターメモ

吹田市の救急医療

突然の病気やけがで困ったときに必要になるのが救急医療です。今回は吹田市の救急医療体制について紹介します。救急医療では限られた医療資源を有効に活用し、速やかに適切な医療を提供することが必要です。救急診療を行う救急告示医療機関は、その機能に応じて初期(一次)救急・二次救急・三次救急の3段階に分かれています。

初期救急は、車や徒歩など各自の手段で医療機関を受診し、外来での治療だけで帰宅可能な軽症患者が対象です。☎曜日、祝日、年末年始は多くの診療所や病院が通常診療を行っていないため、休日急病診療所が内科、外科、小児科、歯科の初期救急対応をしています。そのほか、二次救急医療機関で初期救急診療を行っている場合もあります。

二次救急は、主に救急車により搬送され、入院が必要な患者が対象です。二次救急医療機関には24時間体制で救急患者を受け入れ、手術を含めた入院治療

設備を有し、救急用の入院病床を確保しておくことが求められます。市内には9か所の二次救急医療機関があります。

三次救急は、生命に危険のある重篤な患者が対象で、高度な医療を提供することを目的としています。三次救急に対応している救命救急センターでは、緊急手術や集中治療管理を要する重症疾患を診療しています。日本では従来から人口100万人に対して1か所の救命救急センターを整備する目標が掲げられてきましたが、人口約37万人の吹田市には2か所の救命救急センターが設置されています。また、これらの施設はドクターカーやドクターヘリを備えていて、現場へ医療チームを派遣することで病院前医療も行っています。

このように、吹田市は救急医療機関が充実しており、救急患者の状態に応じた診療を提供できる体制が構築されています。大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 澤野 宏隆